

第28回 日本医療情報学会 春季学術大会 シンポジウム2024 inちば



情報をつなぐ
～ゲノムから社会まで～



会期

2024/6/13(木) 6/15(土)

会場 <千葉県木更津市>
かずさアカデミアホール

- JR木更津駅(東口または西口)より路線バスで約25分
- 高速バス利用で羽田空港から木更津駅まで約50分
- 高速バス利用でバスターミナル東京八重洲より 約65分(かずさアーク直通) など

無料駐車場
400台 完備



大会長
鈴木 隆弘

(千葉大学医学部附属病院 企画情報部)

プログラム委員長

鳥飼 幸太

(群馬大学医学部附属病院 システム統合センター)

実行委員長

土井 俊祐

(千葉大学医学部附属病院 病院長企画室)

演題募集期間
12/1~1/31(予定)



千葉大学病院
CHIBA UNIVERSITY HOSPITAL



運営事務局 株式会社JTBコミュニケーションデザイン 事業共創部 コンベンション第二事業局
〒105-8335 東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング12階
E-mail: jami2024@jtbcom.co.jp

大会事務局 千葉大学医学部附属病院 企画情報部 〒260-8677 千葉市中央区玄倉1-8-1
TEL: 043-226-2346 FAX: 043-226-2373

<https://jami2024symp.net/>





第28回日本医療情報学会春季学術大会 シンポジウム2024 in ちば



●大会テーマ「つなぐ」

今回のテーマである「つなぐ」にはconnect、join、linkなど様々な側面がありますが、いずれも情報システムの本質的な役目の一つと言えます。医療情報の分野でも病院内の様々なシステムがシステム同士や専門職同士をつないでいます。にもかかわらず、現実には思うようにつながらないことが多いのも皆様をご存じの通りです。

臨床と研究、病院と診療所、医師と患者など至る所にギャップが存在し、連携を妨げています。しかし、ギャップを乗り越えてつなぐための機運とFHIRなどの新しい技術も出てきています。

ゲノムから社会まで、情報をつないで医療と社会をより良いものにしていく、そのような活動にスポットを当てた大会にしたいと考えております。

今回もハイブリッドでの開催を行います。会場は緑に囲まれた、ワーケーションに最適な環境です。少し足を伸ばせば房総半島の絶景をお楽しみ頂けますので、是非足をお運び頂き、活発な議論と勉強、そして懇親の場となることを願っております。

皆様にとって、この大会から得るものが多くなりますことを願い、大会を盛り上げていただきたく、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

●JAMI2024春では、新しい演題募集方針にチャレンジします

大会プログラム委員会から「積極的に募集するテーマ・課題」を提示します

学会が「データを診療支援につなげ、建設的に議論する場」を提供します

投稿いただきたい内容は、成功したR&Dや研究に限らず、課題に沿った考察や、現場運用から得られた知見、提案なども積極的に採用します

指定テーマ・課題の一例

オンプレミス-SaaS：持続的な発展を可能とする「オンプレとクラウド」の機能分担とつながり方とは？

平常-BCP：日常診療にも、BCP対策にも「つながる」対策をいかにして導入していくか？

診療-診療報酬連携：「診療中心のフローで考えたいのに、診療報酬アラートが邪魔をする」積年の課題は改善しうるか？

医療情報学の世代連携：院内電子化全盛期に培われた貴重なノウハウ、増大する知見を、いかにして次時代に「つなぐ」か？

●詳細は<https://jami2024symp.net/> まで

皆様のご参加を心よりお待ちしております

